



【速報】平成 31（2019）年度全国学力調査・全国学習状況調査結果報告

3 年生対象に、平成 31 年 4 月 18 日（木）に行われた「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果等をお知らせいたします。なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。

1 教科に関する調査

<学力調査>

〔国語・数学・英語〕※それぞれ 50 分

○出題内容：下記（1）と（2）を一体的に問う

（1）身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

（2）知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

○出題形式については、国語及び数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

2 質問紙調査

<学習状況調査>

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査



教科に関する調査結果について

「本校生徒の平均正答率」と「全国の平均正答率」との比較（※単位％）

国語では約 +2.2 P、数学では約 +13.2 P、英語では約 +4.0 P

全国学力調査では、「知識・技能」等と知識・技能等を実生活の様々な場面に「活用する力」や、様々な課題解決のための構想を立て実践し「評価・改善する力」について、国語、数学、英語ともにすべて全国平均正答率を上回っております。

質問紙調査結果について

（生徒質問紙調査の内「学習」に関する項目から抜粋し、全国平均値との比較）

①家で、自分で計画を立てて勉強している。

41.9 (−8.5)

②学校の授業時間以外、平日（月～金曜日）に 1 時間以上学習する。

71.2 (+1.4)

（塾・家庭教師を含む）

③学校の授業以外に、普段（月～金曜日）に、30 分以上読書をする。

19.8 (−7.2)

④昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館に月に 1～3 回程度以上行く。

5.4 (−2.9)

⑤読書は好きである。

56.3 (−11.7)

⑥新聞を週に 1～3 回程度以上読んでいます。

15.0 (+2.3)

⑦1、2 年生のときに受けた授業で、コンピュータなどの ICT を週 1 回以上使用した。

25.2 (−5.4)

⑧授業でもっとコンピュータなどの ICT を活用したい。

81.4 (+3.1)

⑨生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

62.9 (−9.9)

⑩授業で学んだことを、ほかの授業に生かしていますか。

62.9 (−12.0)

⑪1、2 年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

63.5 (−11.3)

⑫1、2 年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。

40.1 (−15.7)

（※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した生徒を「している」としました。）

家庭学習については、全国と比較して、平日 1 時間以上学習（塾・家庭教師を含む）している生徒は多いようですが、自分で計画的に学習を行っている生徒は少ないようです。家庭における計画的な予習・復習などの習慣づけが必要です。また、読書についても全国と比較して、読書好きな生徒が少なく、読書の習慣も少ないようです。授業においては、ICT の活用、授業中の自主性、発表の工夫、有効的な話し合い活動等が不十分であったことがわかりました。課題を解決すべく、今後も取り組んでいきたいと思ひます。

